

**授業概要**

子どもの感性を豊かにして、子供が自ら表現していこうとする力を養うために、保育者は多くの経験を提供する必要がある。本授業では、学生が様々な経験を経た上で、子供の表現力を引き出せる指導力を養う。オンライン授業が併用される場合は、シラバス内容が変更となるので、その場合は追って指示する。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	リズムあそび① スキップ ギャロップ ツーステップを習得
第 3 回	リズムあそび② フォークダンスやエアロビクスダンス
第 4 回	リズムあそび③ 手をたたく、足を鳴らす、そして動く。
第 5 回	表現あそび① 音を集めて動く。音の鳴るものを用意。
第 6 回	表現あそび② シンメトリー ユニゾン カノンを利用して
第 7 回	表現あそび③ 手遊びにチャレンジ。知っている手遊びを紹介。
第 8 回	表現あそび④ わらべうた遊び。自由表現
第 9 回	実技テスト スキップ、ツーステップ、ギャロップなど。基本運動。
第 10 回	表現あそび⑤自分の好きな絵本を題材にして表現
第 11 回	舞台表現①シーン割り、音決め、動き出し
第 12 回	舞台表現②動きや振り決定 台詞決め
第 13 回	舞台表現③台詞、動きを覚えて、役割分担
第 14 回	舞台表現④ビデオ撮影、修正
第 15 回	舞台表現の発表会
第 16 回	自己評価&相対評価 反省

**到達目標**

- ・多くの体験学習によって、振付や踊り、表現への抵抗感をなくし自ら楽しく身体表現できる。
- ・グループ活動によって、協働性を身につけ、自己表現ができる。

**履修上の注意**

- ・全回出席を原則とする。見学は不可、事情がある場合は相談のこと。
  - ・遅刻は 20 分までで、それ以降は欠席とする。遅刻 3 回で欠席 1 回の扱いとする。
  - ・全ての回で運動に適した服装・身だしなみで受講すること。胸に A5 サイズの名前ゼッケンをつける。
  - ・初回から用意するもの：体操着（ジャージ）、名前ゼッケン、A4 サイズファイル
- \*保育内容Ⅰで使ったノートや折紙は不要。プリント配布のため、保管ファイルのみ必要。

**予習・復習**

予習：シラバスを確認。前回配布されたプリントに目を通す。  
 復習：授業最後にチャートシートを配布する。授業後に振り返り記入して、ファイルに保管する。  
 （保育内容Ⅱではノートは不要。A4 ファイルにプリント保管し、最後に提出）

**評価方法**

レポート・課題 80%、受講態度 20%とする。  
 レポート・課題には、リアクションペーパー、グループ発表、ステップ等の評価を含む。

**テキスト**

教科書 文部科学省『幼稚園教育要領』  
 プリントを配布する。  
 参考文献：『子どもの運動・表現遊び』 宮下恭子編 大学図書出版